

ごあいさつ

本市の公共交通は、J R 高崎線と秩父鉄道の鉄道 2 路線に加えて、路線バスやコミュニティバス、デマンドタクシーなどが運行されており、通勤通学や、通院、買い物など、市民の日常生活に欠かすことのできない交通手段として、それぞれが重要な役割を担っています。



しかし、本格的な人口減少社会を迎え、本市においても人口減少と少子高齢化が急速に進展していることから、公共交通利用者数の減少や、いわゆる「2024年問題」による、運輸・流通業界での深刻な運転手不足などにより、路線バス等の縮小・撤退等が危惧される状況にあり、地域公共交通の再構築が急務となっています。

そこでこの度、子育て世代や高齢者も含め、すべての世代の方が安心して快適に利用でき、将来にわたって持続可能な公共交通網を再構築するため、「便利で 愛される 持続可能な地域公共交通の実現」を基本方針とする「行田市地域公共交通計画」を策定いたしました。

本計画は、「行田市都市計画マスタープラン」や「行田市立地適正化計画」で掲げる「集約・連携型都市づくり」の「連携」部分を担う大変重要な計画です。公共交通で市街地などの都市拠点と各地域を結び、自動運転やMaaSといった次世代の交通サービス導入なども検討しながら、本市特有の課題やニーズに合わせた、利用しやすい地域公共交通環境の実現を目指しています。本計画に掲げた様々な取組みは、行政だけでなく、市民の皆様や事業者の皆様と共に取り組んでいくことにより、はじめて実現できるものです。市民の皆様をはじめ、ご関係の皆様におかれましては、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきました行田市地域公共交通会議委員の皆様、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様をはじめ、ご関係の皆様にご心からお礼を申し上げます。

令和6年3月

行田市長 行田邦子

